

警察の対応改善とカウンセリングへの助成獲得を目指し、

暗数の把握 PTSD放置の現状

をデータ化するための調査です

性暴力被害「相談後」の課題に関する調査

140 件の回答

[分析を公開](#)

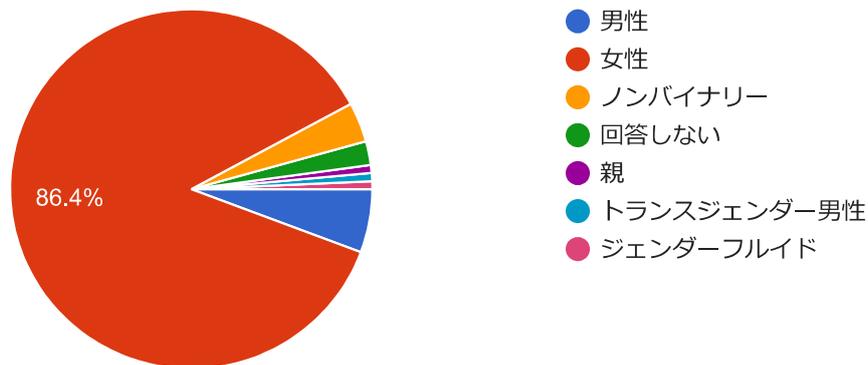
定義

1. あなたご自身のことや被害の概要についてお聞きします

1-1性別

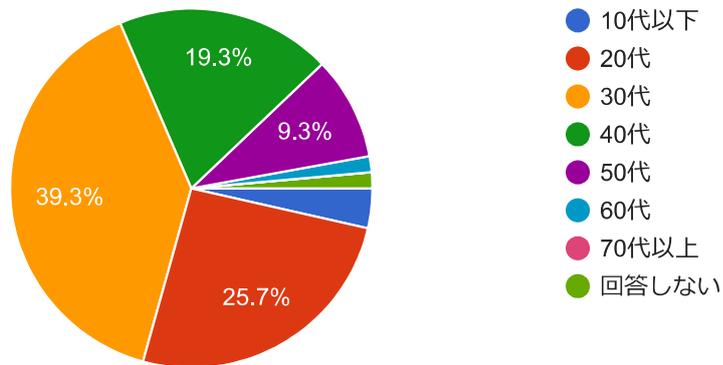
 コピー

140 件の回答



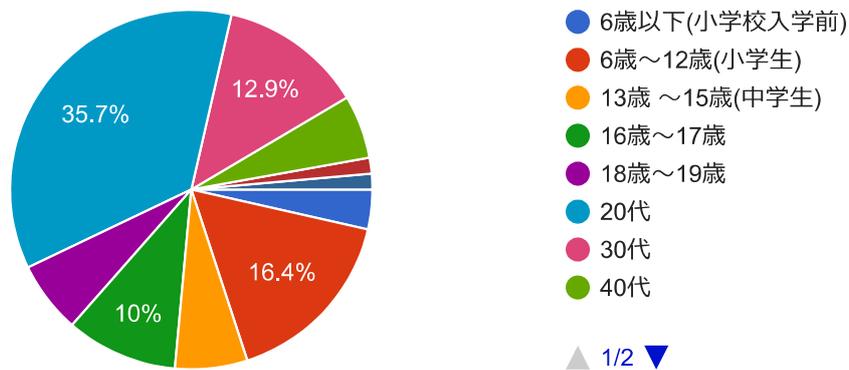
1-2現在の年齢

140 件の回答



1-3 被害時の年齢・属性

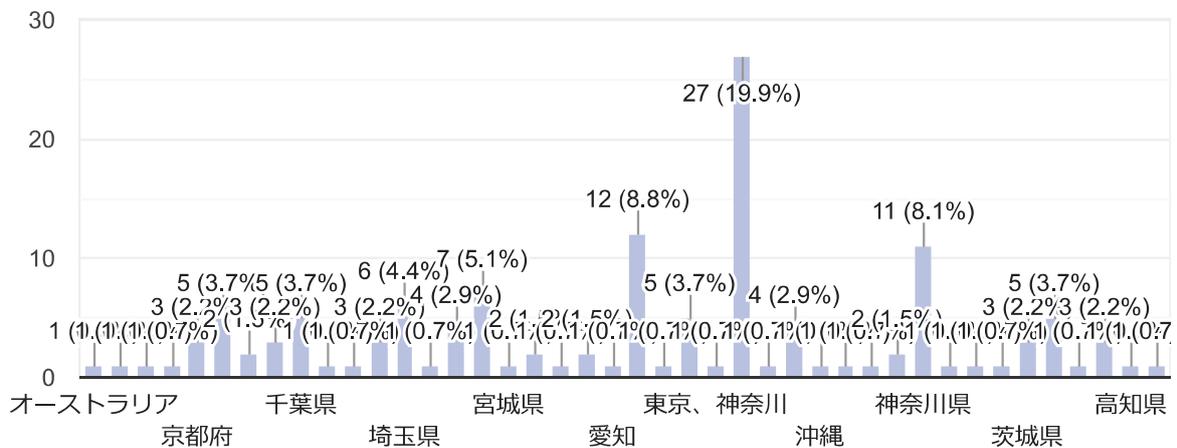
140 件の回答



▲ 1/2 ▼

1-4 被害が起きた都道府県(管轄の警察や機関を明確にするための質問です。お住まいの場所ではなく被害があった地域を都道府県単位でご回答ください)

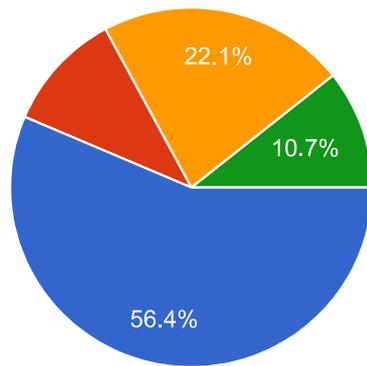
136 件の回答



1-5被害に遭った時期

コピー

140 件の回答

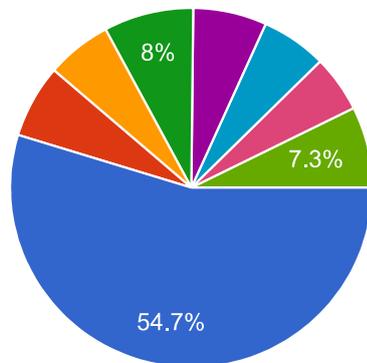


- 2017年6月以前
- 2017年7月～2019年3月
- 2019年4月～2023年6月
- 2023年7月以降

1-6 被害前の年収

コピー

137 件の回答

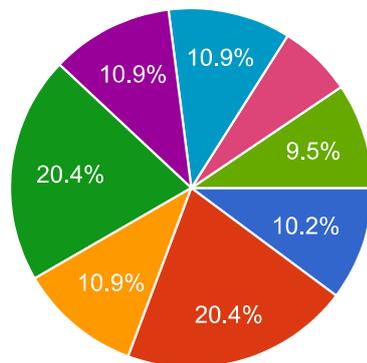


- ～99万円(未成年または学生であったため)
- ～99万円(学生ではない)
- 100万円～199万円
- 200万円～299万円
- 300万円～399万円
- 400万円～599万円
- 600万円以上
- 回答しない

1-7 現在の年収

コピー

137 件の回答



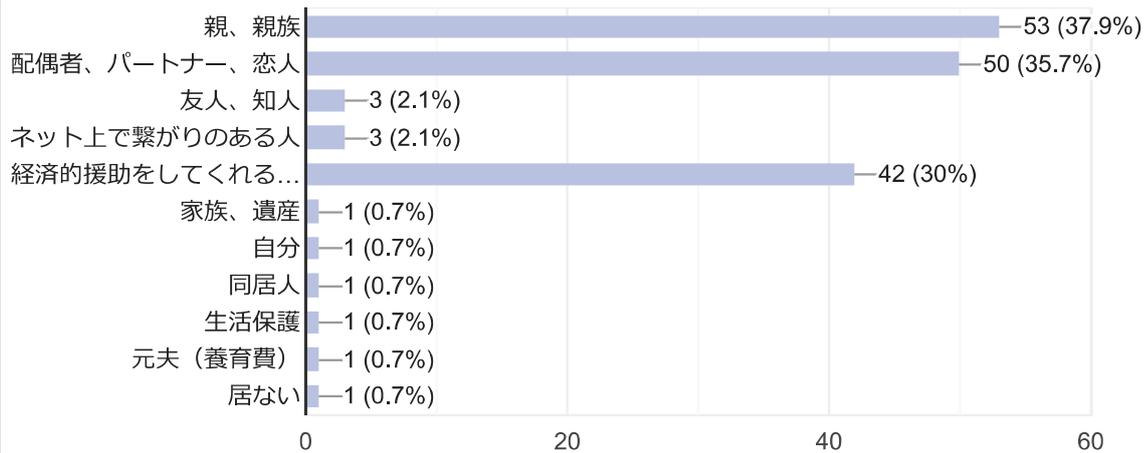
- ～99万円(未成年または学生であるため)
- ～99万円(学生ではない)
- 100万円～199万円
- 200万円～299万円
- 300万円～399万円
- 400万円～599万円
- 600万円以上
- 回答しない



1-8 あなたを経済的に支えてくれる人は誰ですか

コピー

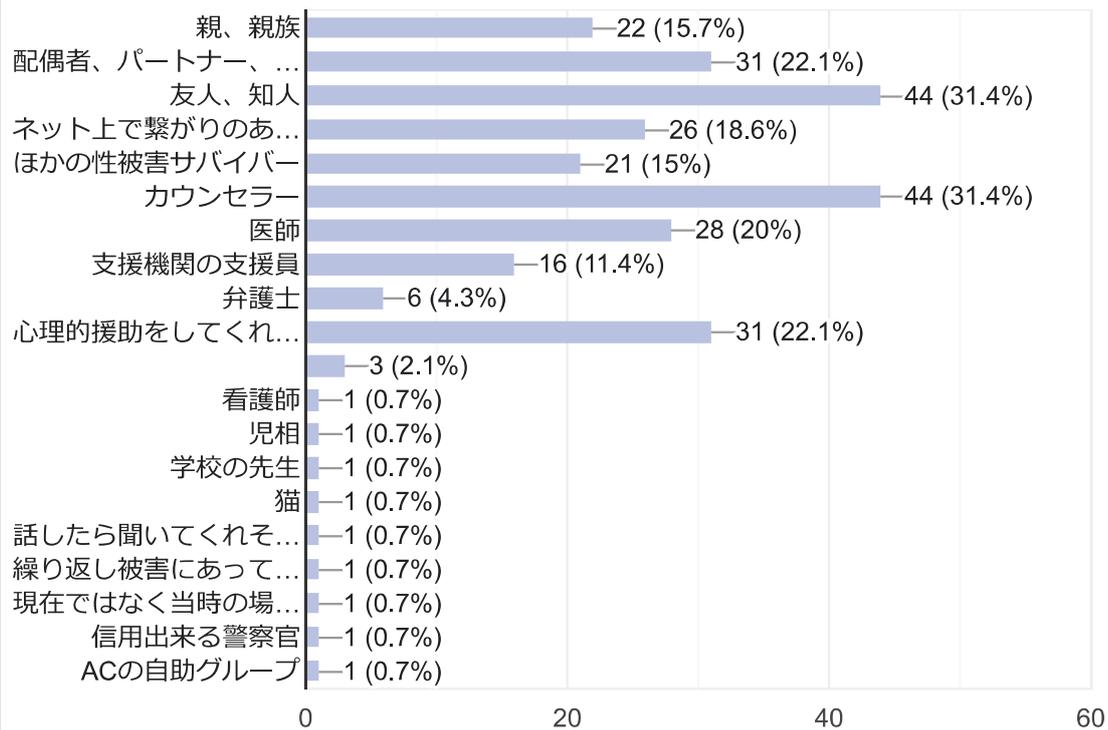
140 件の回答



1-9 被害について話を聞いてくれたり、寄り添ってくれたり、心理面であなたが頼れる人は誰ですか

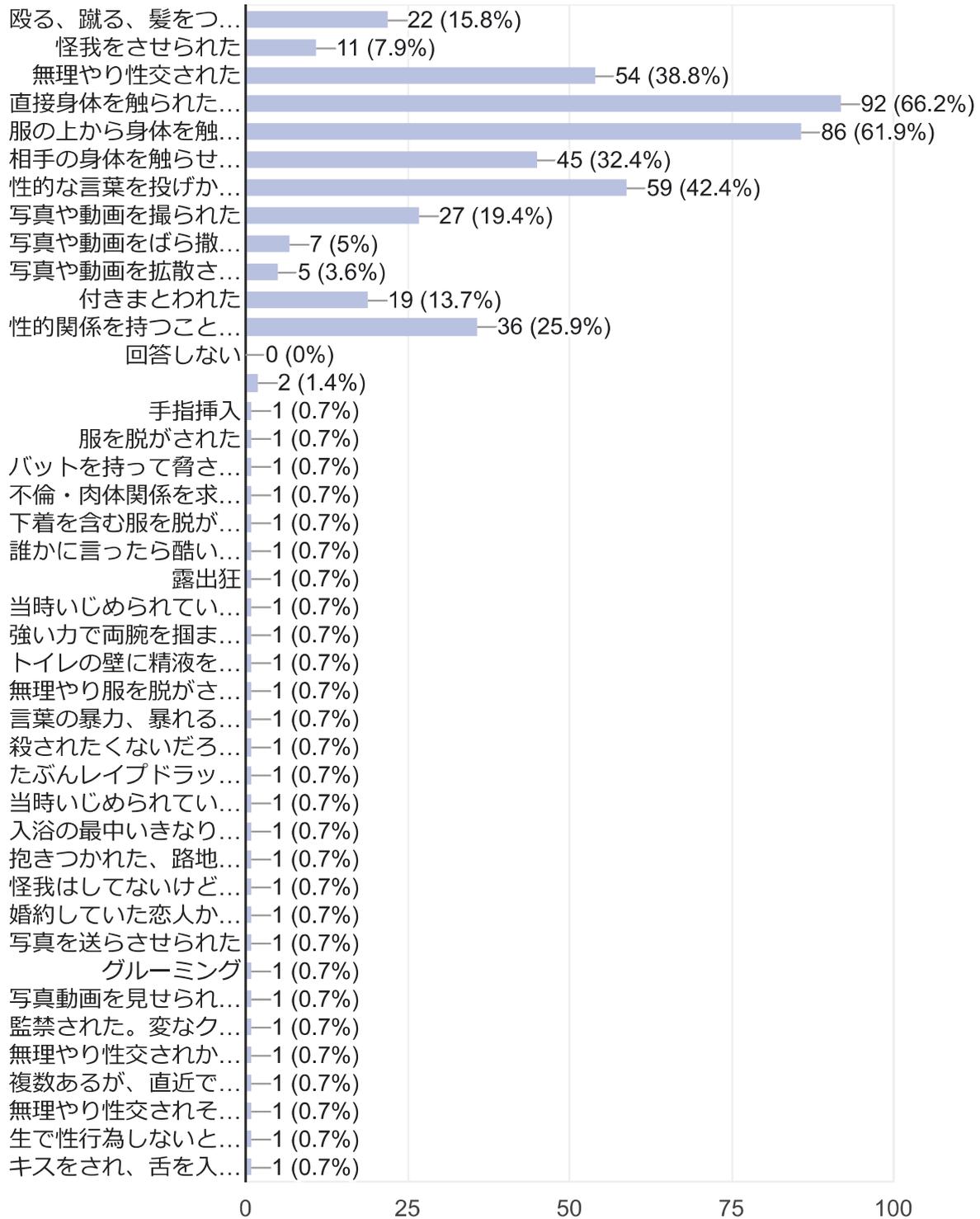
コピー

140 件の回答



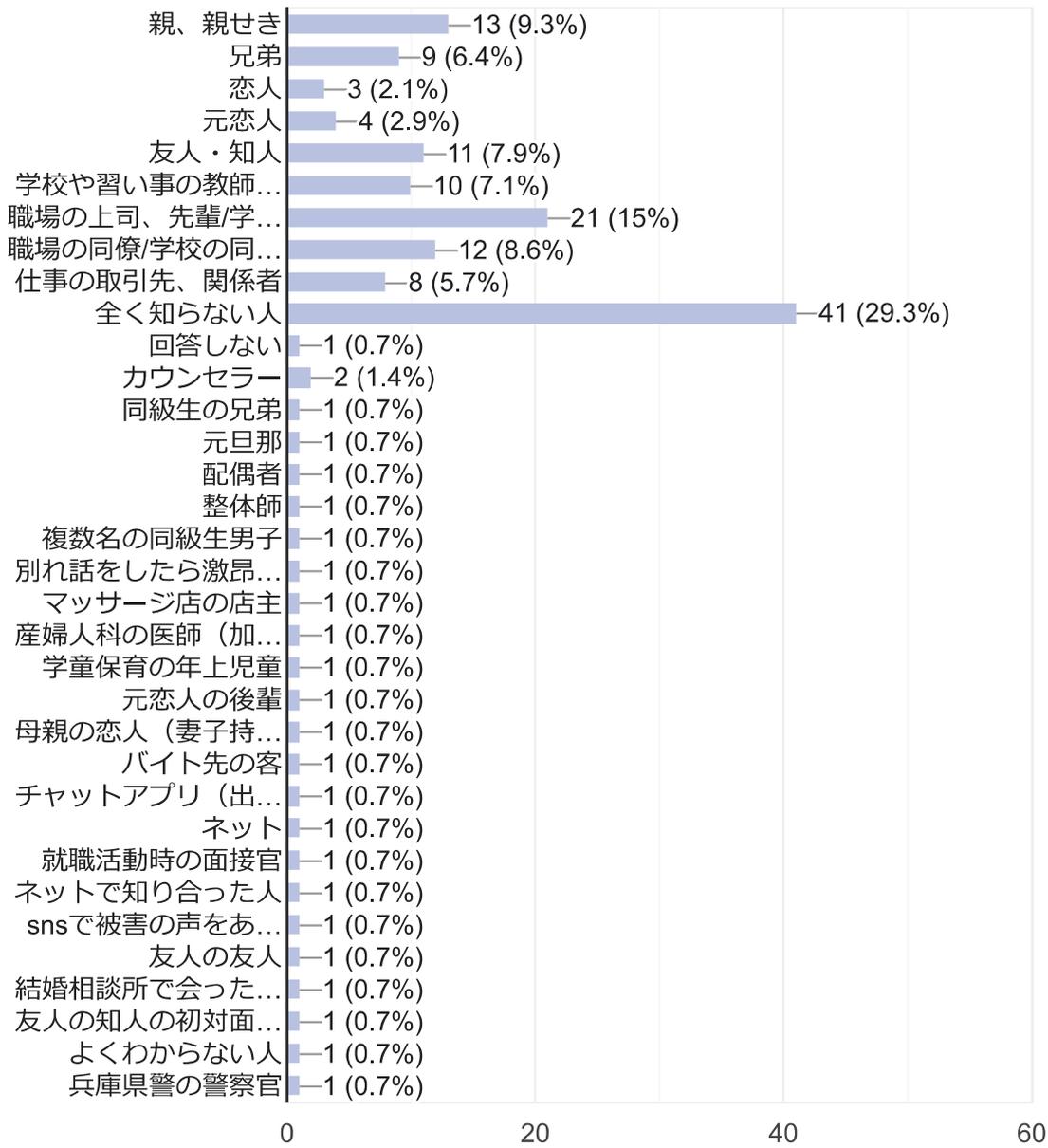
1-10 被害の態様

139 件の回答



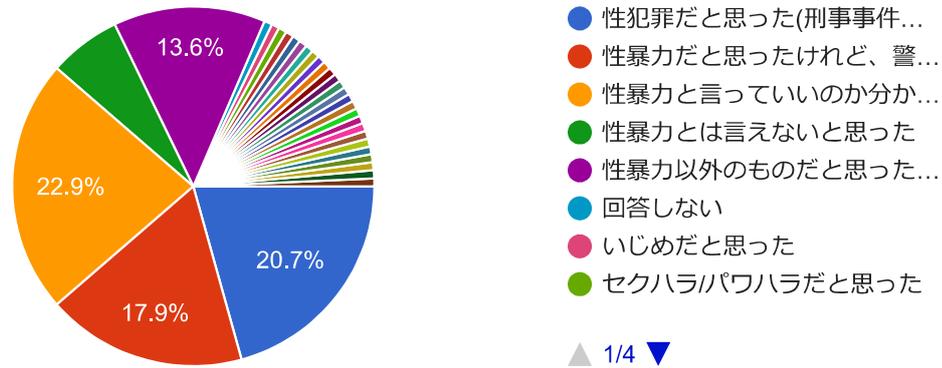
1-11 加害者との関係性(被害当時)

140 件の回答



1-12 被害にあった当時、自身の被害を自分でどう捉えていましたか

140 件の回答

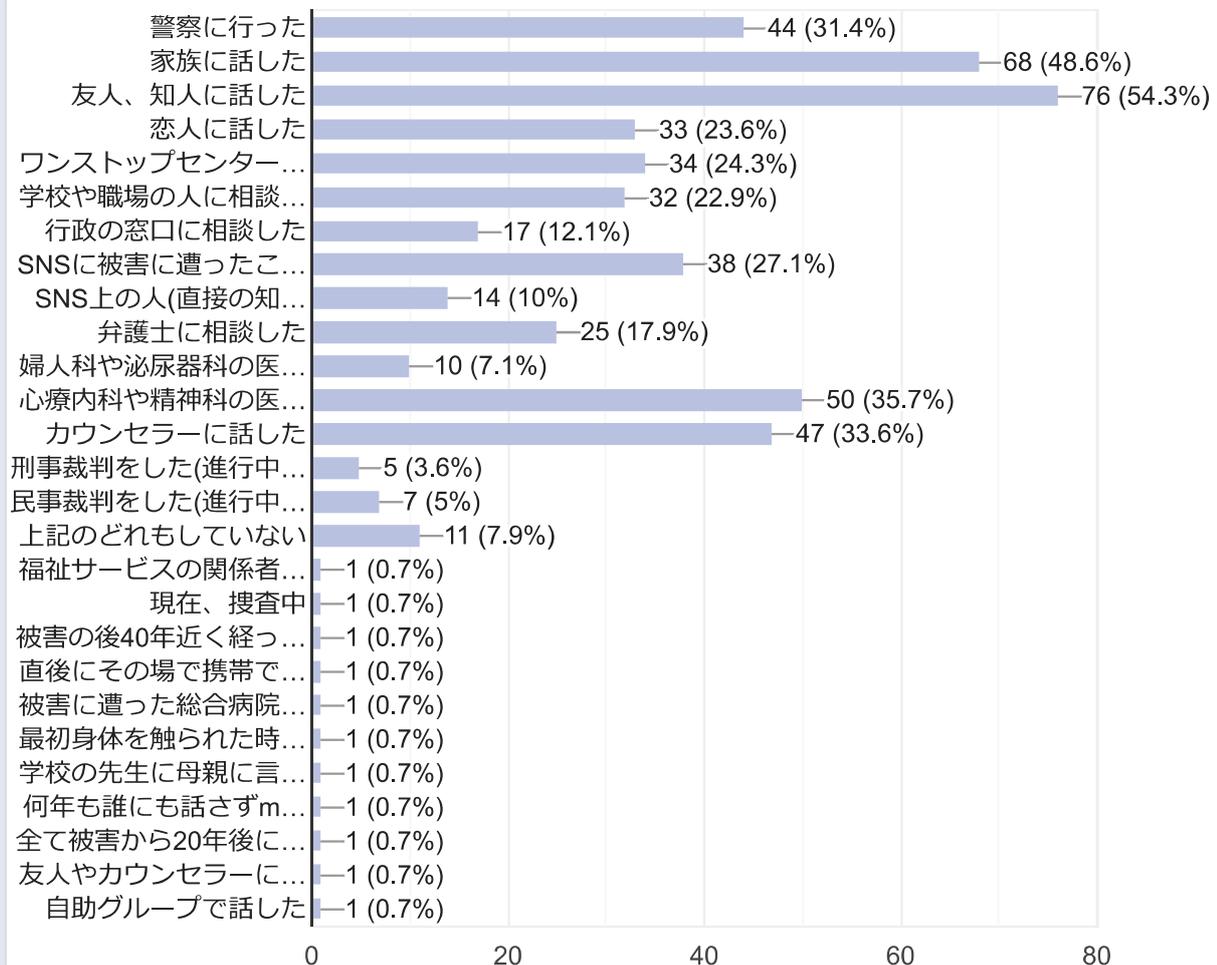


▲ 1/4 ▼

2. 被害を相談した場所や内容についてお聞きします

2-1 上記で答えた被害の後、あなたがこれまでにしたことすべてにチェックをしてください

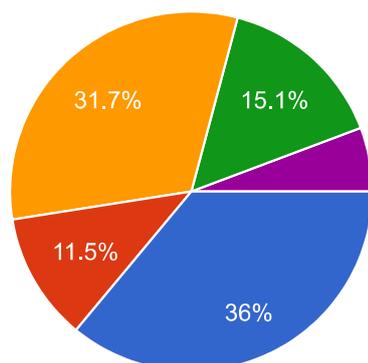
140 件の回答



2-2 被害を初めて誰かに打ち明けたのはいつですか

コピー

139 件の回答

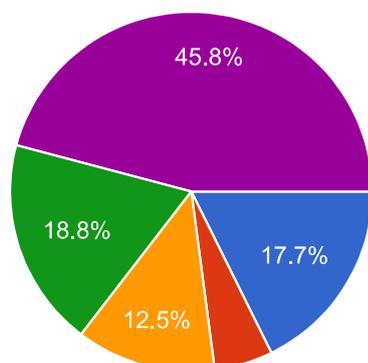


- 2017年6月以前
- 2017年7月～2019年3月
- 2019年4月～2023年6月
- 2023年7月以降
- 被害を誰かに打ち明けたことはない

2-3 警察に被害申告をしたことがある方に質問です。性被害のことを警察に初めて申告したのはいつですか

コピー

96 件の回答

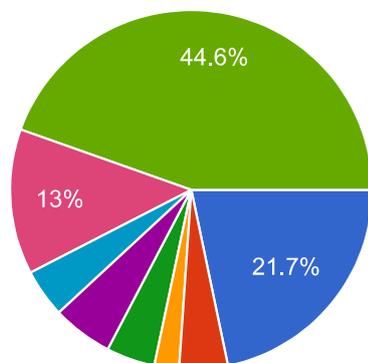


- 2017年6月以前
- 2017年7月～2019年3月
- 2019年4月～2023年6月
- 2023年7月以降
- 警察に被害申告していない

2-4 警察に被害申告をした人に質問です。被害に遭ってから初めて警察に行くまでどれくらいの時間がありましたか。警察に被害申告していない人は、その欄を選択ください

コピー

92 件の回答

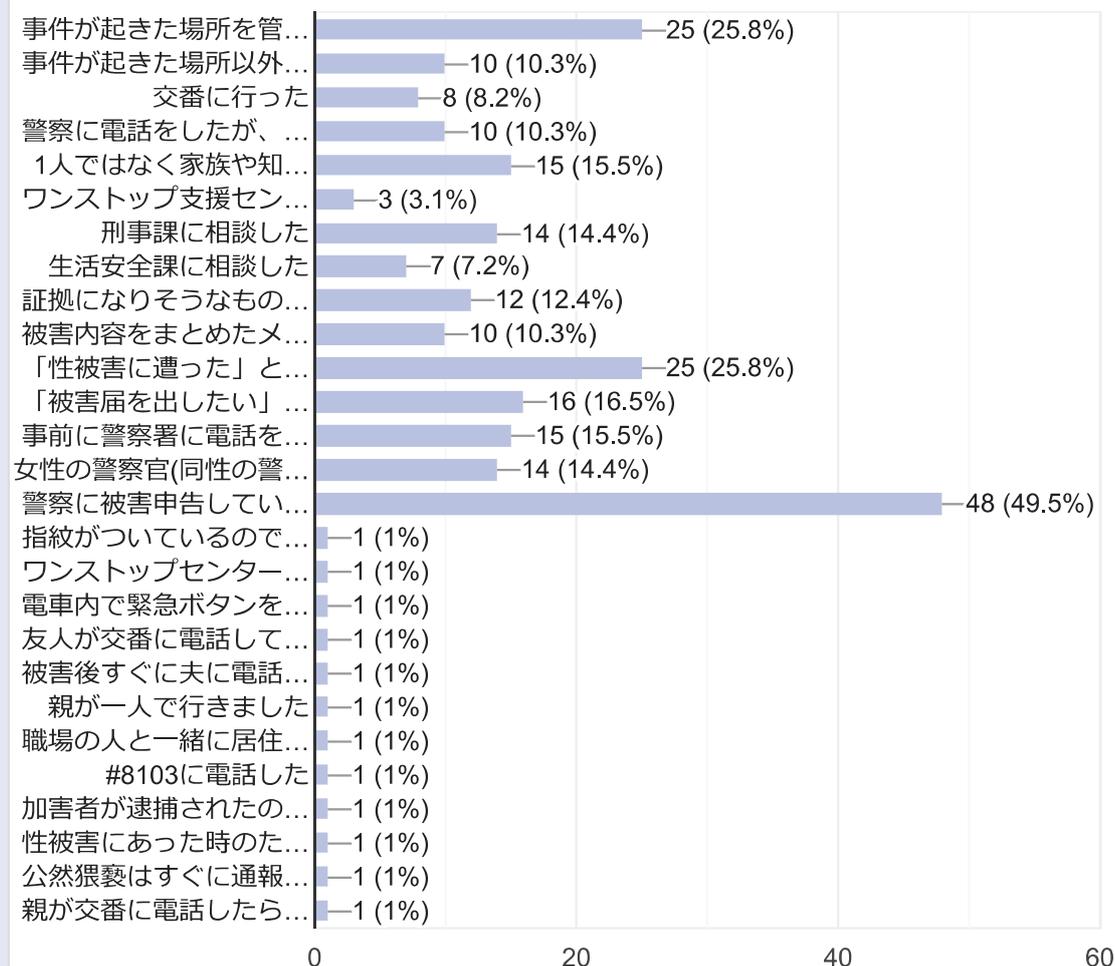


- 被害から3日以内
- 被害から2週間以内
- 被害から1ヵ月以内
- 被害から3ヵ月以内
- 被害から1年以内
- 被害から1年以上～3年以内
- 被害から3年以上
- 警察に被害申告していない



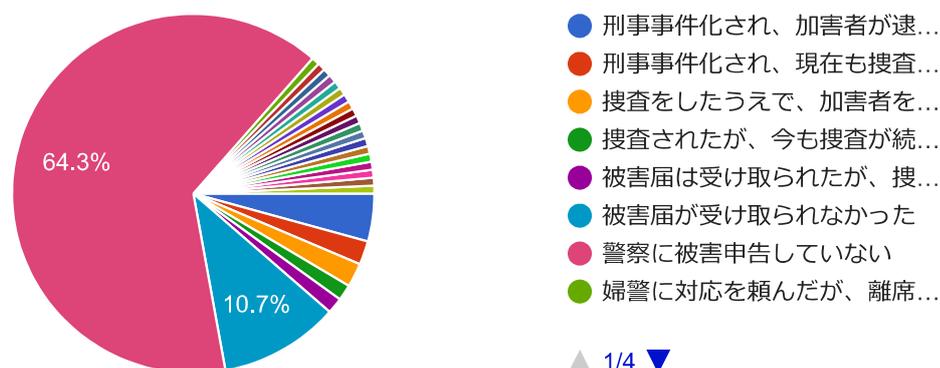
2-5 警察に被害申告をした人に質問です。被害申告をしたときのことについて、当てはまるものすべてにチェックをしてください。警察に被害申告していない人は、その欄にチェックをしてください。

97 件の回答



2-6 警察に被害申告をした人に質問です。被害申告の結果どうなりましたか

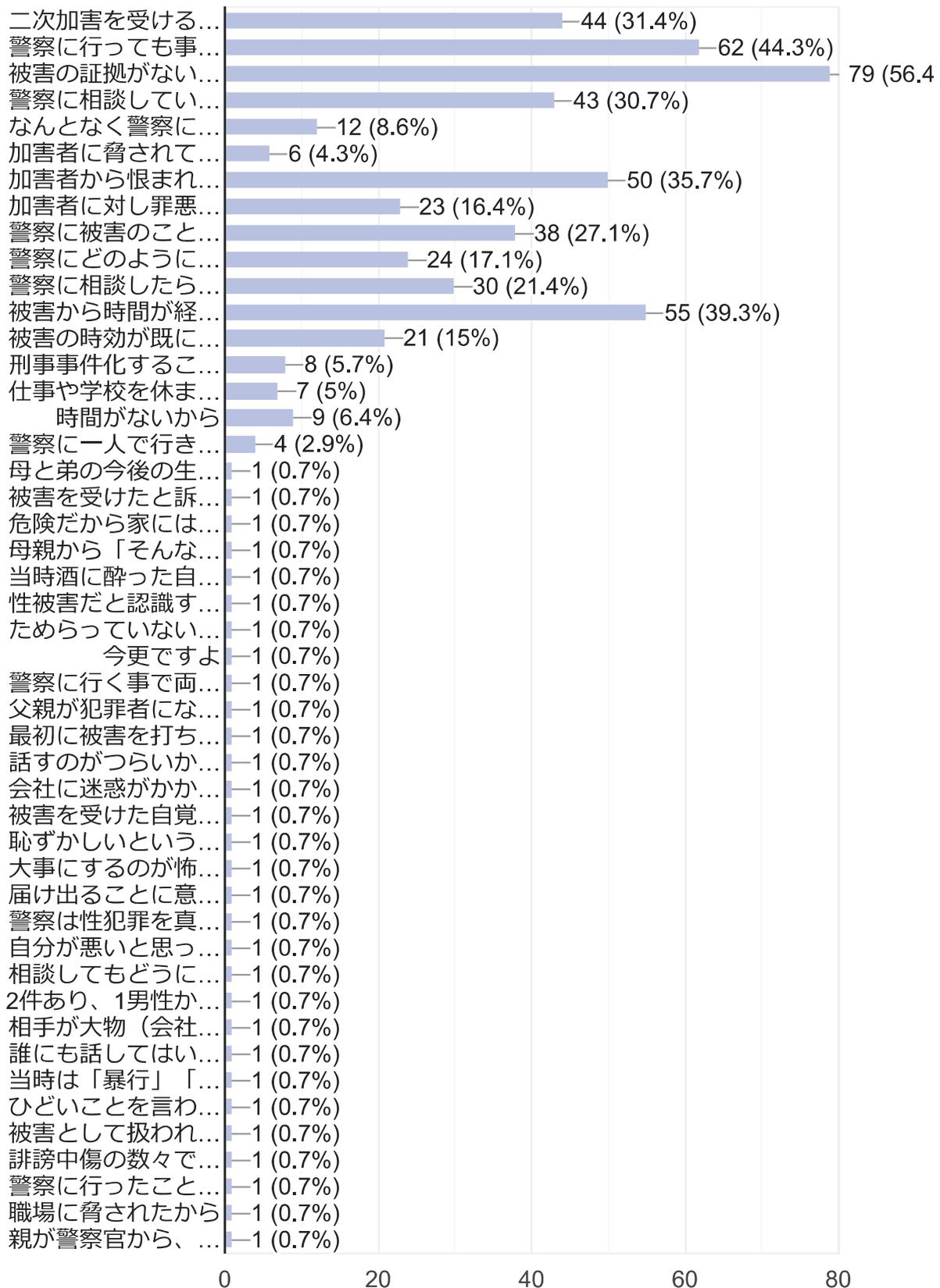
140 件の回答



2-7 みなさんに質問です。警察に行かない/行くのをためらった理由として特に大きいものを、最大5つまでチェックしてください

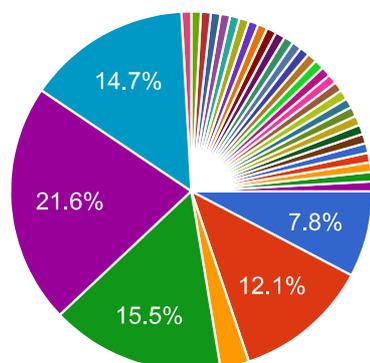


140 件の回答



2-8 警察への被害申告について、あなたの今の気持ちに最も近いものを選んでください

116 件の回答

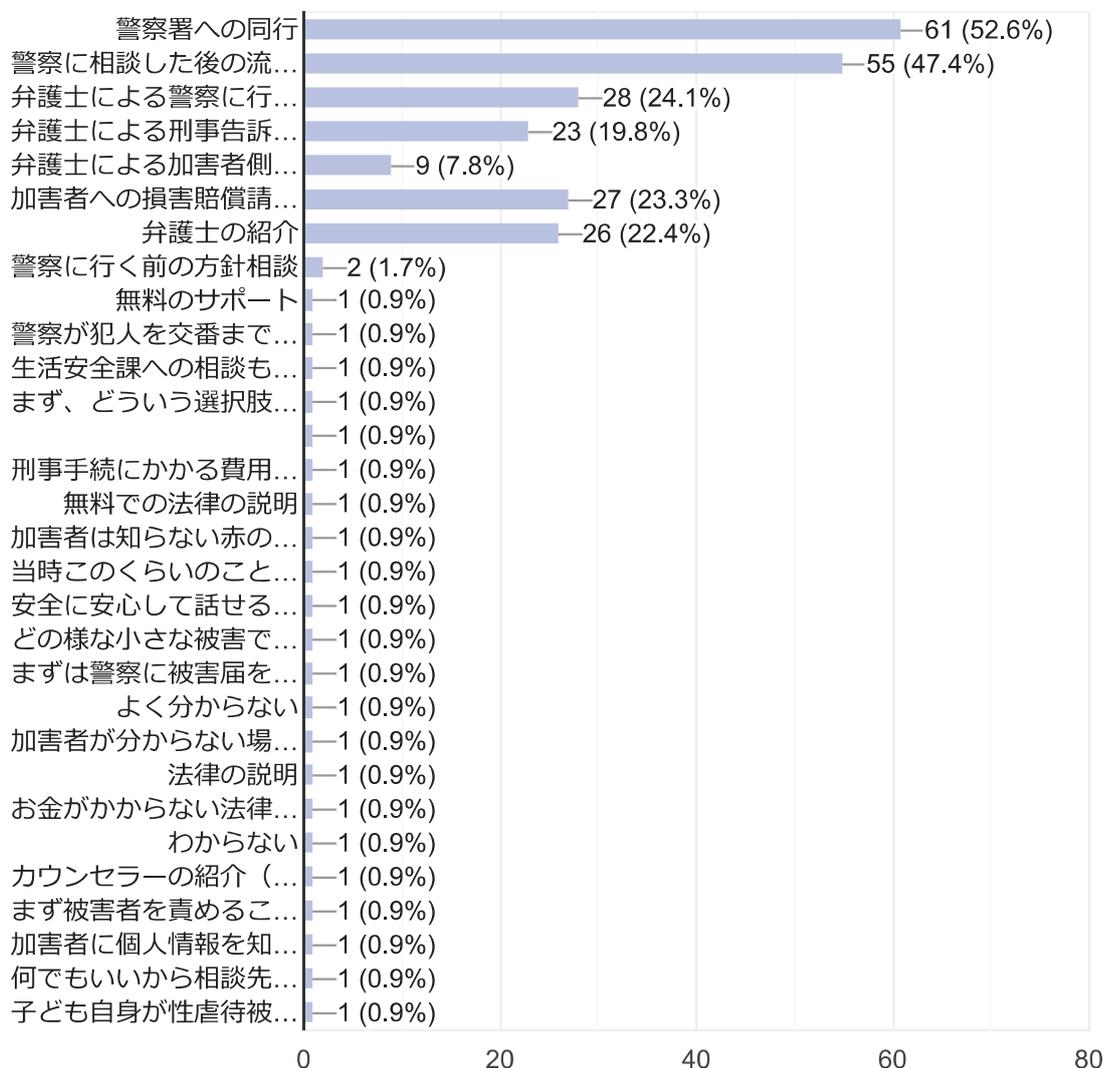


- 警察に被害申告をして、状況...
- 警察に被害申告をして、状況...
- 警察に被害申告をしたが、被...
- 警察に被害申告をしたかった...
- 警察に被害申告をしないこと...
- 警察に被害申告をしないこと...
- 警察に被害申告できるのを知...
- 被害申告をしても時間を消費...



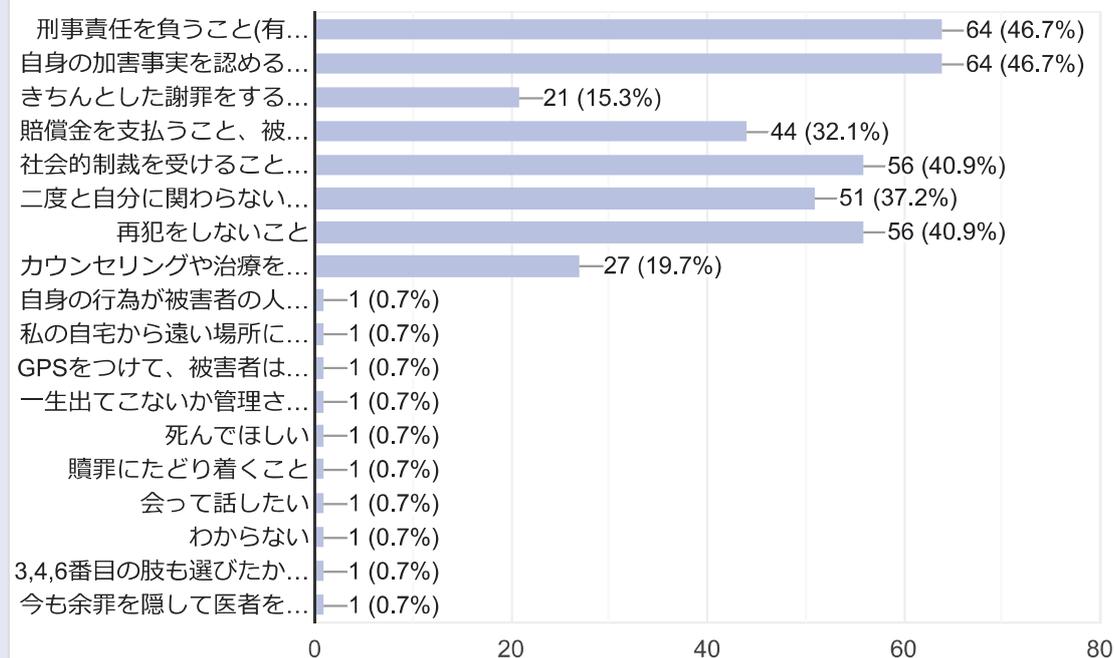
2-9 刑事手続きや法的サポートについて、特にほしい/ほしかったサポートはどんなことですか。最大3つまで選択してください。

116 件の回答



2-10 実現可能性を抜きにした場合、加害者に対し何を望みますか。特に大きいものを3つまで選んでください。

137 件の回答

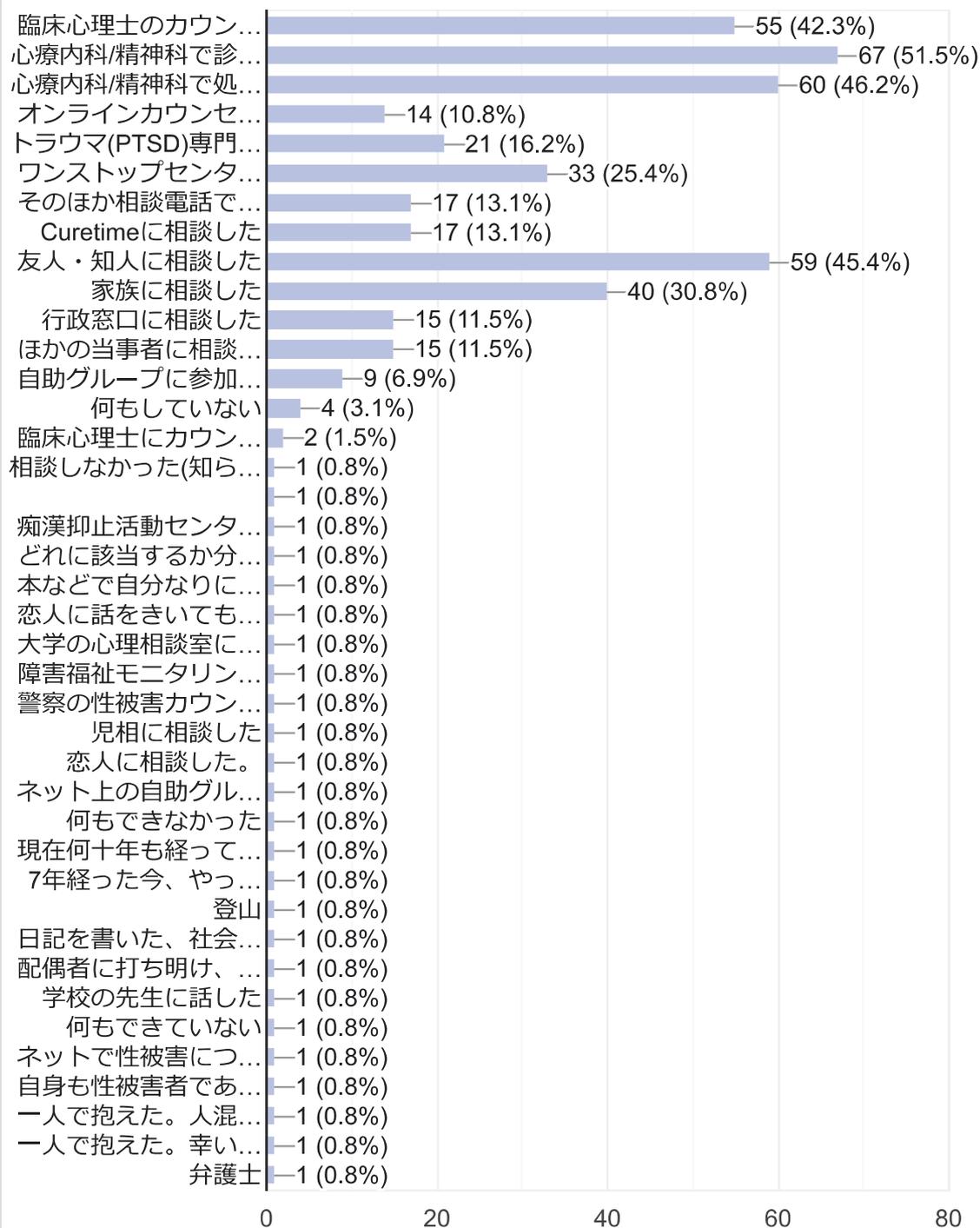


3. 心理的サポートについてお聞きします



3-1 被害に遭ったことでの心理的なショックや悩み、トラウマに対して どんなことをしましたか？(あてはまるものをすべて選択)

130 件の回答



3-2 上記の心理的サポートを受けるために、これまでどの程度の金額がかかりましたか

111 件の回答

覚えていない

有料のカウンセリング等は受けたことがない

回答しない

わからない

大学の学生相談のため無料

数えていない

100万以上

受けていない

覚えてない

性加害関連書籍や映画鑑賞、オンライン講演参加費も含めたら20万円以上

100万円程度

分からない

生活保護を受けていたので医療費はかからなかった。トラウマ治療も心理士の方の研究として受けたため、費用はかからなかった。

隔週で有料のカウンセリングを継続中、1回6600円

15万円ほど

3万円ほど

数万円

25万円以上（現在も継続中）

5万円以上

相談所に行くまでの交通費、心療内科にかかった費用



10万

200万円以上

10万以上

かかっていない

¥60,000-くらい？

計算できない位払っている

10万円

公費のカウンセリングで足りない分を1度5000円で受けた、精神科に6年通った

障害福祉モニタリングや通常の精神科通院や訪問看護の範囲内のため特段の追加費用はない

有料のサポートは受けたことがない

お金をかけないでできることだけをしていた

労災のため医療費負担なし

有料のカウンセリングは受けていない

警察の公費で診察を受けているので、費用はかかっていない

把握できない

1回10000円前後のカウンセリングを1年受け、心療内科には5年ほど通った

これから精神科に通う予定

有料の支援を受けたことがない

合計で60万くらいだと思います。

トータルで100万近い

1回4000円程度のカウンセリングを約月1回、5年は行っているの、カウンセリングだけでも20万はこえる。精神科通院費も今は行政のサポートで0円だが、4年くらいは1割負担で払っていたし、総額は分からない。

5～10万円位

カウンセリングを受けたことがない。



この一回に限ればカウンセリング2回と、その後防犯対策費用などで、60,000万ほど

有料のカウンセリング等は受けていない

うけてない

10万くらい

20万円

10000円以上

有料のカウンセリングは受けていない。

他の被害もあるので境目がわからない

300,000円位

20万以上

有料なものは受けていません。

有料のカウンセリングは受けたことがありません

10万円以上

30万円以上はかかっていると思う。働けなくなってからは生活が苦しくなった

だいたい60万円くらいです。

カウンセリングは受けたことがあるが、性被害とは別の要素で。

有料のものは受けていない

何もしていない

2万円以上

50万以上は絶対越えてます。

他のことについての相談のさい、たまたま性被害について話すことになったため、正確な金額は回答できません

カウンセリングは受けていない。

精神科への通院で数万円



無料(学校の心理カウンセラーに相談したため)

300万

受けたことがない。

80~100万? 計算がもうあまりできません。

金銭はかかっている

母親が払ってくれたのでわからない

心理的サポートは一切受けていない。

5~7万円? あまり覚えていませんが、被害直後は1回7000円ほどのカウンセリングを週1で、2~3ヶ月ほど受けた気がします。

有料のものは利用していない

覚えていないが、最低でも100万かかっているのでは。

300000

いくらになるかわからないが、病状の悪化で2ヶ月入院してしまっただけでも100万かかった。8年前から今もずっと病院通いだが治っていない。

100万円以上

カウンセリング1回1万円

精神科への入院費も含め6万円ほど

30万円

50万円程度

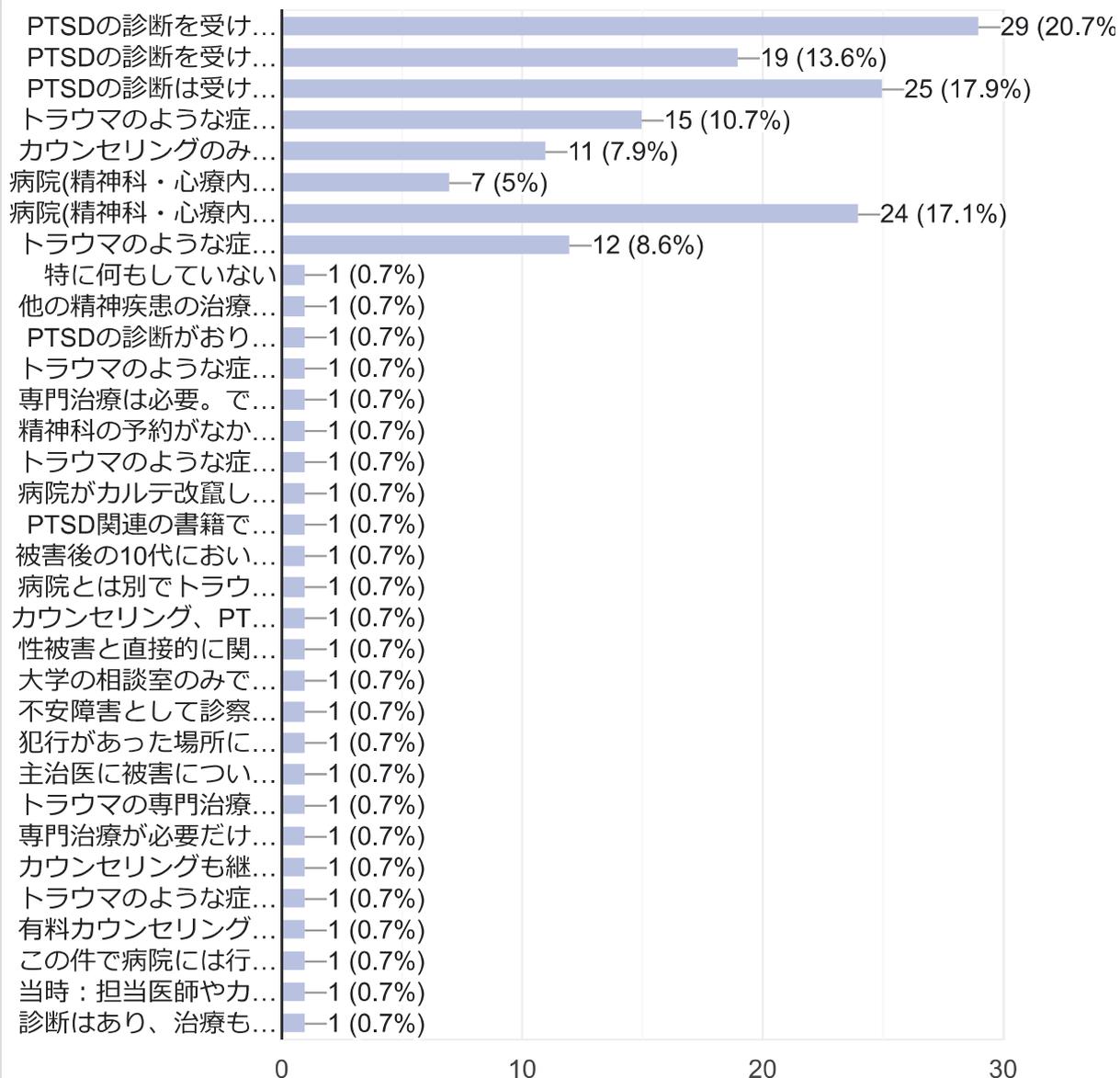
数十万

40万強



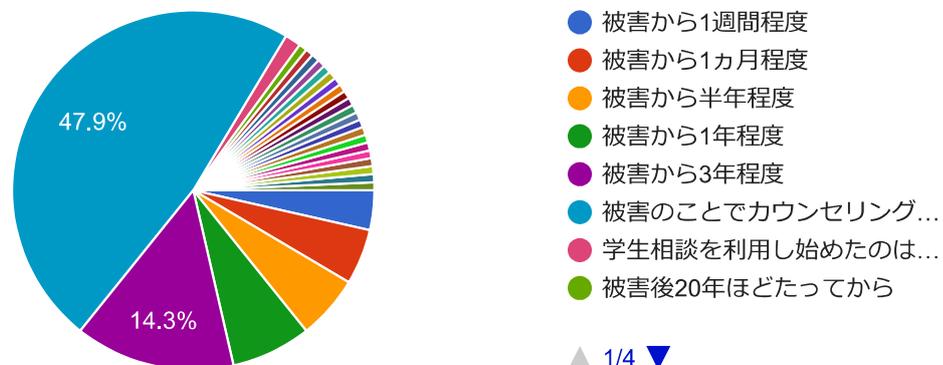
3-3 あなたの状況に近いものを選択してください

140 件の回答



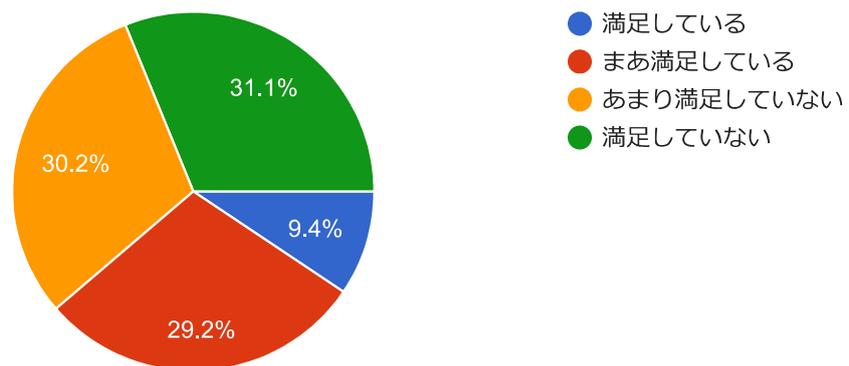
3-4 これまでカウンセリングを受けたことがある方に質問です。被害に遭ってから、初めてカウンセリングを受けるまでにどのくらいの期間がありましたか

140 件の回答



3-5 これまで受けた心理的支援にどの程度満足していますか

106 件の回答



3-6 上記で回答された心理的支援に満足している/満足していない理由を教えてください

89 件の回答

カウンセリングの主訴で性被害を打ち明けた訳ではないからあまり取り扱って貰えなかった。

対面カウンセラーが電話相談を勧めたり「もっと大変な人はいる」と私見を述べたりする

性暴力への専門的知見を持った医療者が少ない

ワンストップ支援センターさんが中心となり弁護士さん、県警カウンセラーさん、提携医療機関カウンセリング予約まで全てをひとつなぎにしてくれています。心強いです。

病院に通って薬飲んでるだけ

結局自分で乗り越えるしかないから

複数の機関で複数の方に担当いただいたが、どこも女性であれば皆痴漢被害に遭ってしまうものだという認識で接され、それは確かに事実であると思うが、自身の性別はどう足掻いても変えることが出来ないのが諦念が生まれた。

病院の待ち時間が長い割に医師と話す時間は数分程度しかないから

ワンストップの支援センターに内閣府から繋いでもらい、電話したら電話では相談乗れないと言われた。外に出るのが怖かったが無理をして遠方まで電車と徒歩で行った。産婦人科に通され、離婚しないのが悪いと怒られた。怒られたのが怖くてしばらく家から出られなかった。

薬の処方のみで話を聞いてもらえない

トラウマに対しての知識があるカウンセラーが担当しているので、安心感を持ちながら話を聞いてもらえている。不満な点としては治療が長期に渡り金銭的な負担が大きいところ。

加害者が逮捕されないこと。加害者本人とその家族が加害者を擁護し、こちらへの対応が皆無であること。私の母親が一時的(私の鬱による自殺願望があった期間)のみの支援でしかなく、現在はまた以前のように蔑ろにされていること。時効後の性加害に対応可能な弁護士がいないこと。性被害者が長年のブランクがあっても相談できる場所があまりに不足していること。

カウンセラーとの相性があまり良くなかった。新しいカウンセラーを探すのも精神的にも金銭的にもつらい。

理解された気がしなかった

痴漢、覗き、ストーキング、デートDVは普通の事という社会通念があり被害とっていなかった

回復できてない



ずっとPTSDに悩まされてる

PTSD症状について心理教育があり、助かったので

支援が足りていない

都道府県の支援センターで、専門のカウンセリングを2年ほど無料で受けられている。
カウンセラー以外には打ち明けられないことも話し合い、回復を実感している。

ワンストップセンターが受けられる支援を教えてくれて、全て受けられた

傾聴に止まり進展がないから

満足できる部分が何も無い

主治医や一部の友人には恵まれたが、犯罪被害者支援の人や性被害支援の人、就職のサポートの人などに嫌なことを言われ続けていた

聞いてくれる友人がいたから

セカンドレイプを受けた

通っている精神科には満足しているが、田舎暮らしなので、トラウマ専門治療をしたくてもできない

支援センターの方がとても親切であった

時期が経っていることもあって、幻想だと思われなかなか理解してもらえなく、辛い思いをした。合う病院を探すたびに同じ話をしなければならないことも辛かった。

トラウマ反応が酷く不登校になった

友人に相談した際に心ない言葉を掛けられてしまったので、相談しやすい環境が欲しかった。

対面で被害について話すことは凄まじい負担だったのと、私自身が言葉より文字で話す方が自分の気持ちを整理しやすかったのでオンラインカウンセリングはありがたかったです。

ptsd専門医なのと、保険適用なので助かってる

受けに行っていないため

何を言われてるのか、この時間が何になるのか分からずずっと不安だった。

わからない

精神的な病気を疑われ、警察も弁護士も動いてくれない。病院はカルテを改竄して診察記録を削除。薬袋に削除された診察日が記載されています。隠蔽に皆必死。「なかったこと」にしな



いと困るらしい。

カウンセラーさんの距離感が良い。また、自分でもカウンセリングや心理の勉強をして、過度に人に期待をしなくなったし、被害を受け入れられるようになったから。

親身になってくれた

被害自体を忘れてしまっただのうつ状態と診断されたから

最初の被害が幼少期で、慢性PTSDから、治療にこぎつけたのが30最手前だった。このアンケートには、唯一警察に駆け込めた30台後半に起きた痴漢事件についてのみ回答。
性被害による脳の損傷は完治がなく、治療費負担が多く、生活を縮小し、今も可能性を閉じたまま生きいる。自由に生きられる人々が心底羨ましいと思う。

複数の要因があり心療内科に通い続けているが、被害については今まで一度も病院で打ち明けたことがなく、時間薬で克服した部分が大きいと思っているため。

PTSDで今も悩んでいるから

不眠やフラッシュバックなどの症状を軽減することを目的とした、カウンセリングや投薬を受けられるようになり、先の見えない不安がなくなった。

父親に言うと「あらあ〜…」と無言。友人に至っては何を言われたのか覚えていない

専門家が無料で行ってくれた

具体的に心理的支援によってこれ以上良くなる希望がないため

まだ被害の話を伝えてある最中でなにも進んでいない

パートナーが理解してくれているから

専門家が岩手県にいない

根本的な解決にはならない、一生付きまとうので相談しても無駄だと言う思いがある

一時保護から養護施設へ行ってそこで特に配慮されることなく生活を強制されたからです。それで今40代になってからとても苦しい人生です。

プロがいない。話が通じない。

マイノリティーが安心して相談できる場所は実質的にないに等しく、パートナーに負担をかけてしまったから。

精神状態が良くないのがずっと続いている
トラウマ克服できていないから



安全な専門家に辿り着くことができたから。でも今も苦しい。もっと話を聞いてもらいたいけど予約も取れないしお金も高い。

文章のやり取りではなく、対面のやり取りでは被害について上手く話せなかったと思います。文字で感情の整理をするのはよくやることなので、口で話すよりも得意な方でカウンセリングができたことはありがたかったです。

トラウマ治療にはかなり時間がかかるから

父親について聞かれ、アダルトチルドレンの様なパターンに当てはめられた気がして、父親の話などしたくなかったため止めてしまった。

あまりわかってもらえなかった。励まされて、逆に辛くなっていくのをやめた。家族には話さないでほしかったのに勝手に話されて信頼できなくなった。

医師に被害内容を話せなかった

PTSDと診断されていないこと

心療内科でお世話になっているカウンセラーさんとの相性がよいから。

支援員が私の助けになろうとしてくれていることは感じるし理解できるが、精神状態に一向に改善の傾向が見られない

あまり大きな声では言えませんが、大学でのカウンセリングなので、本来は生徒の方と心理士の2人体制でした。しかし、被害にあったことで配慮していただけたのか、心理士の先生一人でカウンセリングを続けてくださいました。コロナ禍だったので、オンラインで週1ペース、無料でいただいた時期も長いので感謝しています。被害にあってからは今で五年経ちました。

これ以上心理的支援によって良くなる希望がないため

現在相談中のため、まだ回復に至っていません

学校の心理カウンセラーで、性被害やトラウマ治療の専門家ではないため、話を聞いてもらうことしか出来ない

過去に悪化させられた。専門治療が受けられるところ遠すぎる、少なすぎる。保険診療分では不十分すぎる

トラウマを扱えない心理士に悪化させられたことがあるが、当時は知識がなくてわからなかった

医師から二次被害を受けた、性被害PTSDについての専門医、及びカウンセラーに辿り着くまでが困難、PTSD発症による就労不能になった場合の経済的支援不足

二次加害が起こる。ここの文章はあまり書けていませんが二次加害についてはかなりの体験と知識(専門的なことも)があるので、なにか二次加害について作成する際にはご協力出来るかもしれません。(その時の体調に合わせて)



同調してくれたから

母に打ち明けてから支援に繋がれ助けてもらった。もっと早く支援に繋がれば良かったが、無理だった

私自身が臨床心理士。専門知識があり、自分のニーズに適った心理支援を選ぶことができるが、一般の人には難しいと思う。

被害について心理的支援を求めたことがない

家族問題で普段からカウンセリングに通っていたので、関係性ができているカウンセラーにすぐ話げできた。

【当時】

親、周囲、医者、臨床心理士：大袈裟と思われた。二次加害を受けた。性的マイノリティ差別を受けた

カウンセラーを探しても：受け持ってもらえなかった。

ワンストップセンター：頼りなかった

弁護士：仕事はしてくれるが性被害にあまり熱意がなく事務的で嫌だった。

カウンセラーを探そうにも、立地や料金から高過ぎて気軽に探せない。

※現在はオンラインのを見つけたが、やはり料金が壁になっている。

被害について話しても世間話として扱われる。自分とは関係のない世界という感想を聞くのが苦痛。専門の訓練を受けていないから。

大学に医学部があったので大学伝いで精神科医にすぐにかかることができたから。

救われなさすぎる

前提としての被害状況について理解していただけなかった。

性被害に理解がない

児童相談所での心理的支援ではあまり回復しなかったため

さまざまな手法を受けられたから。カウンセリングは無料だったから。

費用が高すぎる。

産業医が組織と結託して見捨てたから

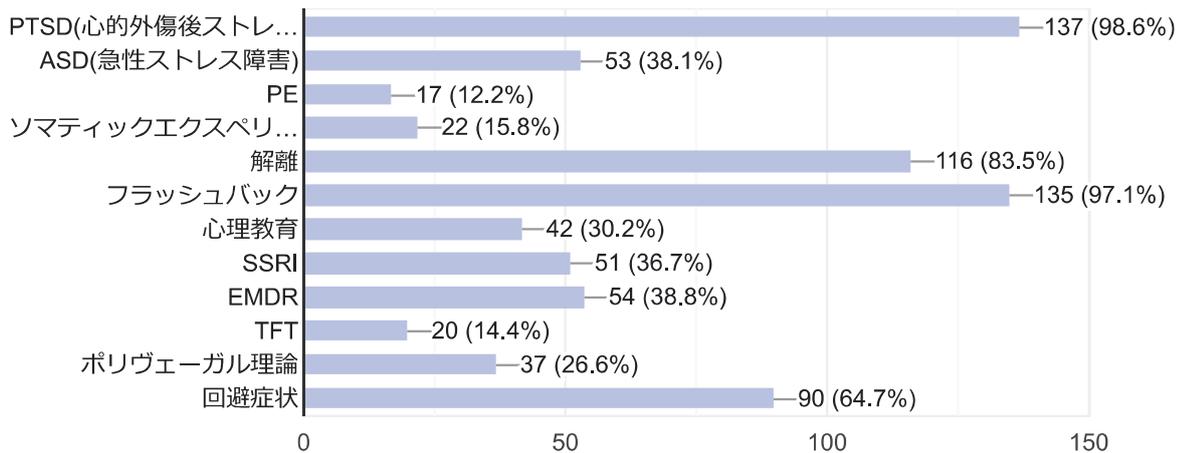
最初の心理士は精神分析でトラウマ・インフォームドな姿勢がなかった。今の心理士はその姿勢もあり、取り組み続けられそう。



3-7 以下のなかで、意味を知っていてなんとなくでも説明できる言葉にチェックをしてください



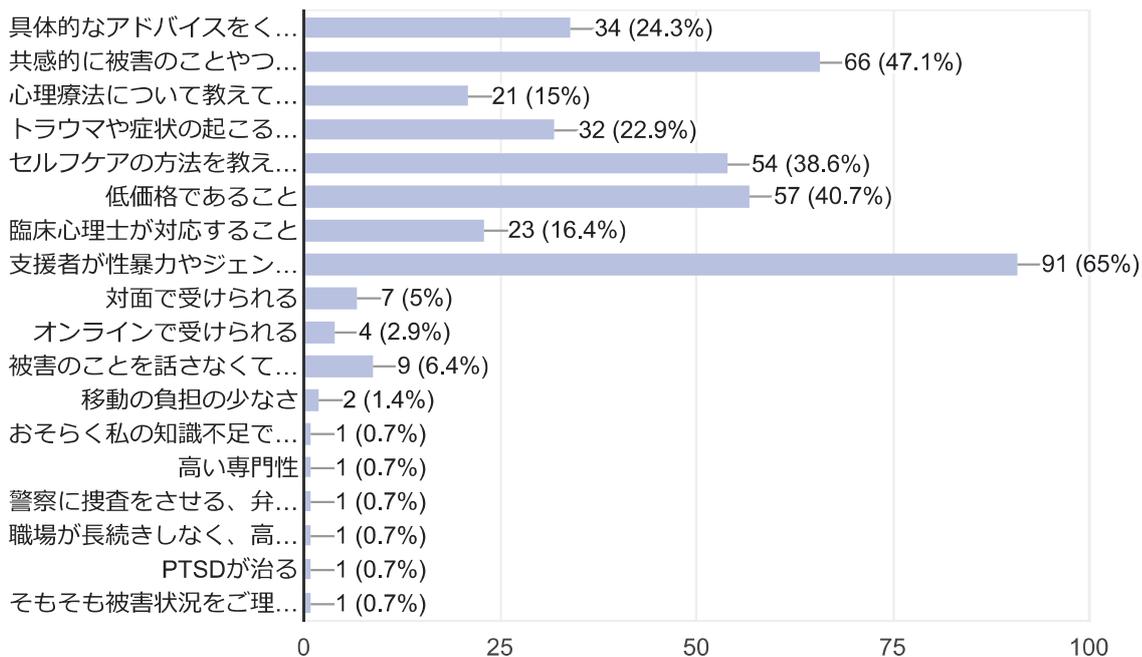
139 件の回答



3-8 心理的支援に求めることはどんなことですか？(優先度が高いものを3つまで選択)



140 件の回答

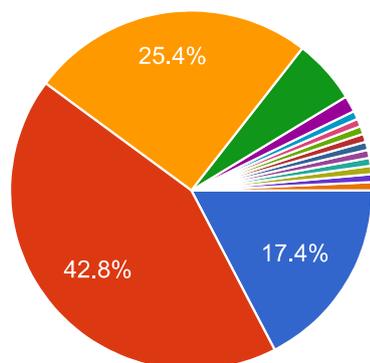


3-9 それぞれのサポートがいくらくらいであれば利用しますか



①心理士によるカウンセリング (1回50分)

138 件の回答

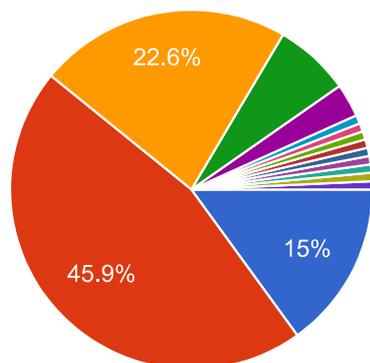


- 有料であるならば利用しない
- ~3000円
- ~5000円
- ~7000円
- ~1万円
- 3000円。何故ただ生きている...
- 収入によつての価格設定があ...
-

▲ 1/2 ▼

②心理士によるセルフケア方法やトラウマ専門治療先の紹介 (1回50分)

133 件の回答

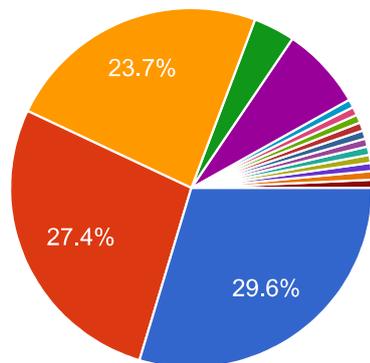


- 有料であるならば利用しない
- ~3000円
- ~5000円
- ~7000円
- ~1万円
- 上記の質問と同じ
- 金額は3000円。被害者は被害...
- 被害が継続しているのでケア...

▲ 1/2 ▼

③弁護士への今後の方針の相談 (1回50分)

135 件の回答



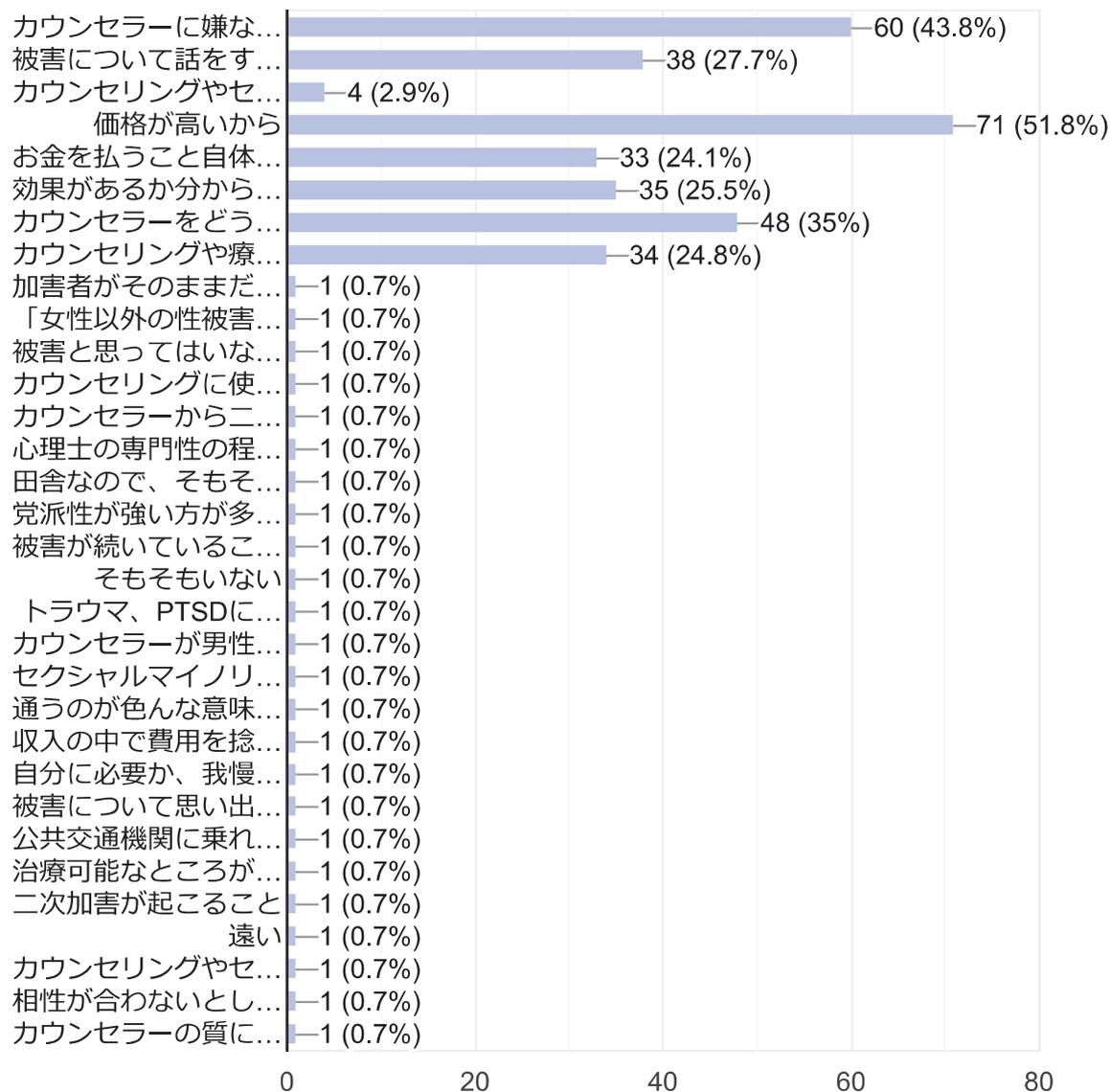
- 有料であるならば利用しない
- ~3000円
- ~5000円
- ~7000円
- ~1万円
- 上記の質問と同じ
- 加害者へ請求できるなら利用...
- 報復は望まないのだから必要ない

▲ 1/2 ▼



3-10 カウンセリングやセラピーを受けるにあたって、ハードルとなっているのはどんなことですか。特に大きいものを3つまで選択してください。

137 件の回答



3-11 心理療法に限らず、普段の生活のなかで回復に良い効果があったと感じること、少しでもあなたを支えてくれていると思うのはどんなことですか。

108 件の回答

趣味に取り組む

日常的に関わる人と今まで通り過ごすこと

ピアグループ

人との繋がりを感ずること

支援の輪の中で繰り返しあなたは悪くないのだと言って貰っていること。

犬と息子とパートナーという

時間、物理的に距離を置く

薬を飲む

散歩、写真撮影、ジェンダーやフェミニズムを学ぶイベントへの参加、女性との日常の会話など

何もない。どれだけの優しさを何百回と経験しても、結局、人として扱われなかった存在である事が無かった事にはならない。

精神科で処方された薬を飲む、勉強に励む

高齢の親がスマホに買い替え、LINEでいつでも相談に乗ってくれる

睡眠、服薬、友人と会う

自然のある場所に行く、散歩をする

パートナーが唯一の理解者であり、向き合ってくれること。

被害について理解のある友人と話す。

ペット 本ゆるキャラ

トラウマ治療、散歩、趣味

好きな物を食べる

フェミニズムについて勉強する、シスターフッド



身近な人が話を聞いてくれる、社会的に性犯罪へのリテラシーが高くなる

スーパー銭湯、鍼灸治療

ヨガ、瞑想、温泉に入る

環境を変える(仕事を辞めて実家へ引っ越す)

読書をする(好きなジャンルでリフレッシュ、トラウマや性被害を勉強)

話せる人にだけ話し、無理に回復を急がない。

深呼吸、娘にハグしてもらう、大島信頼氏のトラウマの本

ポジティブな友人と被害について話をする。趣味に取り組む。

サバイバーとのつながり

トラウマや女性差別、サバイバーに関する勉強

優しい言葉をかけてくれた他人

時間

猫と過ごす時間、敢えて仕事に没頭する、ひたすら寝る

趣味

やるべき仕事を見つけられたこと、子を授かったこと

特になし

正しい性被害に関する知識を学ぶことで救われた面があります。また趣味に取り組み、友人と遊ぶことも大きな力になっていると感じます。

友達とお茶する

旅行

同じ姓被害者である人との繋がり

学ぶ事。仲間との時間。

家族と食事する、睡眠

社会復帰、結婚、趣味のミュージカル観劇

旅行 自然の中に行く



夫と出かける。ペットと遊ぶ。

忘れるために熱中できるものを見つける

運動習慣

ペットからの愛情。好きな人ができたこと（男性を好きになれたこと）。誰も自分を気にしない空間があること（座席のあるライブ会場など）。家族や友人との食事。絵を描く、話を作る、絶対安全領域に居るとき。
寛解後は知らない土地を歩くこと、旅行も楽しんでます。

創作活動での昇華、ペットとの触れ合い

フェミニズムについて勉強したこと、シスターフッド

性加害について知識を増やす。たくさんの体験を聞く。

家族と一緒に暮らすこと、友人と話すこと、走ること。

運動、推し活、親しい人に話して共感してもらう

ゲームをする？おしゃれをする

仕事でもなんでも思い出す時間がないくらい忙しいこと。

友人と会う。緑が多い場所に行く。

ペットと過ごす

趣味に取り組む（手芸）

noteに綴る

誰かに話す、ペットと触れ合う

睡眠

無理やり身体を動かしたり、自転車でサイクリングロードは歩行者や車をあまり気にしないで走れるので気がそれる感じはあります。

好きなことを取り組む

被害当事者がメディアに出て話してくれる時勇気をもらいます。

ペットと散歩に出かける

登山、猫。人間から離れたことが結果的に早期回復につながった気がします。



ヒーリングミュージック

フェミニズムについて勉強する、フェミニスト達の声を知る

私に起きたことを何も知らない安全なコミュニティと継続的に繋がれること。私は通っているパーソナルジムでした。そして、信田さよ子さんの本で言葉を手に入れられたことはつらかったけど、語れることに繋がった。自責をやめられることに繋がった。

趣味に取り組むこと、友人と遊ぶこと

身体を鍛える

まず自分自身を優先する選択肢を考えてから、現実的に可能な選択をする。

家で好きなドラマを見て、現実を忘れる

推し活、読書、睡眠

友人と遊ぶ、家族と出かける、ペットと遊ぶ、ゲームをする、ものを作る(工作や手芸)、絵を描く、筋トレ、散歩、音楽、ウインドウショッピング、カフェに行く

乗馬

トラウマについて自分で学ぶこと。安心出来る友人たちとおしゃべりする時間。

他のサバイバーの事例にふれる

子どもの時に好きだったことをすること。ポケモンゲームやポケモングッズを集める。息子と旅行。夫に話す。

ペットと一緒にいる、仕事をする

フェミニズムを学んだことで、被害者は悪くないと思えたことです

被害を受けた（受けている）人は世界中にいるということを知ること。戦ってくれている人たちがいることを知ること。

人と話す、ジェンダーについて学ぶ

褒められる。認められる。なにかに上手くいった。挑戦して成功した。

旅行、アニメを観る

趣味に打ち込み、被害にあったことを忘れること

SNS



ぬいぐるみ。絵を描くこと、趣味

無し

今に集中すること、本を読んで勉強すること、友人とのウォーキング、犬の散歩、呼吸法、推し活、被害時のありとあらゆるものから距離をとること（想起しないようにする）

創作(材料費があり体調がゆるす時)

趣味に没頭する

ペット(猫)を飼い始めたこと

家族や友人と普段通りの生活ができたこと

愛する人の隣にいる

信頼出来ない人と会わない、話さないこと

職場の理解を得て休職できたこと。上司に復帰後の見通しを伝えてもらったこと。（雇用継続したいと言ってもらえた）

パートナーの存在

なし。地獄

友人と話す。自分の体験をフィクションで大きく変換させて物語を作る。歌を歌う。

言語化

他 6 件の回答が非表示になっています



そのほか、アンケート全体に関してやご自身の経験について、補足されたい点などございましたらご記入ください。

56 件の回答

ネットだけのつながりで安心しようとするとう力がかからないけど性被害の後遺症が悪化する懸念

被害者支援や社会の理解がまだまだ進んでいません。当事者としてその後に及ぼす影響の深刻さを伝えていきたいです。

乖離と思われる症状は被害中からですが検察に行って具体的な被害のことを話した直後から大きく記憶が抜け落ちました。証人尋問が終わった後はさらに乖離やフラッシュバックが強く出ています。医療機関でカウンセリングを受けることになりました。

地域差もあるのかもしれないが、都内で生まれ育った自身としては、生まれた身体の性別が女性であれば、性被害に遭うのは当たり前であると周囲の人間も認識している。

しかし、SNSで痴漢被害の動画に自身もこのような経験を今でもであると引用して共有すると、「嘔吐き」「冤罪犯」「大したことない」「被害者ぶっている加害者」と言われる。加害者の性別に言及した事はないが、「男性差別者」と言われたこともある。勿論被害者の性別も限定していない。

子供の頃から当たり前被害に遭い、警察は犯人を連れてこなければ対応しないと証拠の提出も受け付けず、他人からはまず嘘扱いされる。

相手が男性であれば交番まで連れて行くには女性の身体能力では不可能で、捕まえられず、また被害に遭う。

このループから抜け出せる術がない。

配偶者からの無理矢理の被害、SEXしなくても壁に腕を押さえつけられ無理矢理啜えさせられるなども性被害だと世間も認めてほしい

私の友人の店に相手が怒鳴り込んだことがあり、私が友人達からバッシングを受けたり、家族や友人から危険が及ぶようなら縁を切りたいなど、孤立し、孤独感に耐えられず相手のところに戻ってしまった。警察でもセクハラを受けたり、被害届を出さないなら共犯であるかのような態度で責められた。

国内の性加害に対する認識(男女双方)の理解が深まること、時効の撤廃、刑罰の重罰化がこの社会で実現することを望みます。

普通の人間を装って、責任を取らず社会で幸せになろうと生きている加害者が許せないです。

被害を被害と思えない原因の一つにTV媒体があると思う。日本のR指定のないTVやゆるキャンなどの性の軽視や低年齢化を助長する様な番組、嫌がる女性にキスをする・身体(胸、尻)を触るなどのお笑い番組。今であれば弁護士さんには有料でも相談したいと思いました。

被害にあったとき、直後に対応してくれた刑事さんは優しい対応だったが、その後の事情聴取が機械的かつ何度も被害状況を振り替えるため精神的につらかった。また弁護士も警察が用意した簡易的な印象の方で、何か自分に補助になる意見はもらえなかった。被害を訴えてから警察にさく時間と交通費でかかる負担は誰にもカバーしてもらえず、犯人を捕まえるために必要な労力は自分で負担する必要があり報われないと感じた。

(あらましとしては、道路上での痴漢被害を訴えた。徒歩で帰宅中に後ろからスクーターで近寄



り服の上から胸を触られた。直後に私が警察に電話すると発言したため驚いた犯人は逃走、その際にスクーターのナンバーを記憶し警察に訴えた。その情報から犯人が判明、逮捕に至り、当時他にも似た被害が出ており連続犯であることも判明。私の被害は軽視されており犯人逮捕に利用されたが私には賠償はなかった。)

行政の介入と、起訴されていない被害者も経済支援など必要だと思う。時効撤廃も必要。後、支援期間を長期でして欲しい

- ・エントラップメント型の性被害について知るまで、被害と言っていいのかわからず苦しみました。認知が広がって欲しいです。
- ・被害から数年経ちトラウマ治療をしてからようやく、性被害について調べることができるようになってきました。民事/刑事手続きのために情報収集しています。インターネットでは、加害者向けの情報ばかりでうんざりします。冤罪よりも本当の被害の方が多くはずです。弁護士や専門家は苦しんでいる被害者を救う立場であってほしいです。

加害者被害者共に自覚していない性犯罪も多くあるが、確実に被害者の心は虐げられ傷つけられているので、NOと言って良いこと、性犯罪の範囲や正しい知識が一般教養としてきちんと認知されたいなと思う。

被害者は10名を超えるのに被害申告をしたのは4名。逮捕されても起訴する権限は検事にある。何度も同じ話をさせられたのに一度不起訴になり、検察審査会部申しで、検察官逮捕されコロナ禍もあり、有罪判決が出ても控訴し有罪確定するまで4年、民事で5年かかった。加害者は5年で出所したが、被害者は恐ろしい記憶に一生苦しめられる。

発達障害が知られていない時代の未成年当事者であり両親からも先生からも今にして思えば虐待に相当する処遇を受けていたため学校へ通報する気力も湧かず、卒業間際の担任からの聴き取りに対しても正直な申告ができなかったし、警察に被害届も出せなかったことが悔やまれることについて気持ちを整理できません

警察に行くのに躊躇わなかったもので、行かない/ためらった理由のところはためらっていない、という選択肢もあると嬉しいです。私の場合は電車内の痴漢でそのまま警察に引き渡しました。

当時の私に必要だったサポートは、1. 今とれる選択肢が何なのか、2. その先にどういった作業や処理が待ち構えているのか、3. 加害者は私の個人情報を知るのか、4. これらを知るためにどのようなサポートが受けられるのかの情報、です。

私自身は直接的被害よりもそれを打ち明けた友人の反応の方がつらかった。

私はいわゆる性的マイノリティで、アセクシャル・アロマンティックになります。簡単に言えば自分と他人との性的な接触や、恋愛に興味がないor望まない性的指向です。幼少期の性被害がきっかけでこうなったのかは、正直なところわかりません。ただ確かなのは今の自分がそういうことを望まない、でも周りから浮きたくなくてそういうことを無理やりやったら自分自身の否定になる、ということです。アセクシャルやアロマンティックは知名度が低く、また恋愛や性的な接触をしたがらないと周りから「恋愛したがるなんて人間として頭がおかしい」だとか「心が冷たい」だとかいろいろなことを言われがちです。なので性被害に関する本をよんだり、学会などに行って「良いパートナーがいれば予後がいい」とか「性行為は本来愛し合う2人の間で行われる素晴らしい行為のはずなのに」とか「被害者も恋愛や愛する人と性行為をしたいはず」みたいなことを聞くと「恋愛や性行為に関心がないこと」で責められた数々が頭の中に蘇ってきて苦しい気持ちに



なりました。同時に「被害自体に理解や支援があっても、性的指向の方で否定的な言動をされると別の方角から刺された気持ちになるし、そうやって結局自分の尊厳を傷つけられるなら、もう自分から支援されるのを断ることもあるだろうな」と思いました。

なのでもし叶うなら、性被害の支援の場では目の前の相手が異性愛者や同性愛者とは限らない、無性愛者の可能性があるというのも考慮されたいなと思います。なかなか難しいかもしれませんが.....

性被害似合うと仕事辞めたりするので、その後の生活のサポートが必要だと思います。

「被害に遭ってから初めてカウンセリングを受けるまでの期間」で解答欄になかったので3年程度を選択しましたが、私の場合は6年かかっています。

私の被害は6時から17歳迄なので被害年齢の聞き方に違和感があった

アーティストにファンレターを送って以来、4年間集団ストーカー被害に遭っています。たとえば通りすがりに「11万」「200万」「遺産なくなるぞ」などと叫ばれる、友人にLINEで相談している最中に、外から「病院行け!」と叫ばれる、「ソープに売る」「子供が被害に遭う」「暴力団の関与」「借金を背負わせる」等をおわせてくる被害に遭っています。

警察は「嫌がらせがあるのは本当のようだが、直接話しかけてこないとしらをきられるので現段階では捜査できない」とのこと。

精神科は以前多めに薬を出していたことを加害者に脅されたようで、診察記録を削除して「気のせい」と言います。薬袋に削除された診察日が記載されているので、カルテの改ざんは証明できます。

相談した弁護士は「就労できなくなり、遺産を使い果たしたら生活保護を受けてください」とのこと。

ケアやカウンセリングは被害が継続していない状況、不法行為が捜査される状況でなければ焼け石に水にしかならないと思います。

自分のような被害者を無くしたいと警察官になりましたが、警察官在職中に解離転換性障害の症状が出て退職しました。8年前くらいのことです。同期や先輩の様子から、性暴力に理解があるとは思えませんでした。被害に遭った方に関わることもありましたが、刑事さんが作成した調書を勉強のために見せてもらった際「小説みたいw」と笑っていた同期がいました。被害者にとっては小説でもドラマの話しでもなく、現実なのに、、、と思ったことを覚えています。でも、とても理解のある警察官がいることも確かです。「警察ガチャ」で、被害者のその後の人生が変わることのないよう、教育を徹底すべきだと思っています。

最後に、自分語りが長くなりましたが、このようなアンケートで実態を把握しようとしてくれる人がいるということ、それだけでも心強く思います。ありがとうございます。

加害者の中でいつまた私のことを思い出してつきまといが起きるのか、また、精神疾患を持っていたので突拍子もない行動を、して、家族特に子供が被害に合うのではないかと今でもびくびくしてさしまう。なぜ被害を受けたほうがこんなにも苦しい生活を強いられるのか。被害者は加害者が今どこにいるのか把握できるような仕組みがほしい。周りはもう起きてないから気にするなと言われるが、加害者の気持ちも分からないのに憶測で話されても安心はできない。

こういった支援を考え実行して下さる皆様が存在しているだけで、どれだけ心強いことか。先人たちの積み上げた歴史や、皆様の働き、発信に心から癒され、感謝致します。

被害とは完全に別件でカウンセリングを受けたことがあるが、ストレスやトラウマと向き合うことで、メンタルが非常に不安定になった経験がある。カウンセリングは万能薬ではないと感じた。



電車の中でスカートの中を撮られ、現行犯で犯人が捕まりました。それが理由でPTSDにはなりませんでしたが、捕まえてくれたおじさんにショックでお礼も言えず、犯人を訴えることもできませんでした。

返答し易いアンケートで助かりました。また、加害者との関係性の項目の中で他の項目に比べて全体的な被害数が少なく、表に出る事も少ないのかもしれませんが、「医師」の項目もあると有り難いです。被害に遭ったのは40代後半でしたが、まさかこの年齢でこの様な事が起きるとは思いもよりませんでした。人の生と死に向き合う現場にいる人間が、人の心を殺す様な事をするなど医師としては勿論、一人の人間としても大切な何かが欠如しているのだと思います。

二次被害のリスク、社会全体の理解が必要

私の場合は家族との関係が被害を訴えることの大きな障害になっています。日本の家庭の性に対する向き合い方は大きく問題があると思います。AVなどとの付き合い方など隠すことでやり過ごしているような環境では家族でさえ味方になってくれるようには思えません。

元々芸能活動をしており、稽古の中で体の関係を求められました。業界に対して改善の余地もなければ、自身もそこまで芸能のポテンシャルもなく辞めてしまいました。当時声を上げるべきかも悩みましたが、未来を担う子たちのためにも声をあげれば良かったと思っています。

加害者が既婚者だったため、性加害について警察へ行くならば「不貞」で訴えると脅されました。日本の法律はおかしいです。変えてほしい。

デジタルタトゥー問題で傷つきなんとかしてほしい

結局私は退職しました。社長室で働いていて、社長案件の事業に欠かせないパートナー会社の人からの加害で、相手を会社は切らなかった。相談した上司とマネージャーからパワハラとモラハラが始まり、労務も辞めさせようとしてきて、休職に追い込まれて、悔しくて労災請求中です。結果は東京では1年くらいかかるそうです。本当は刑事も民事も損害賠償請求したいけれど、労災が精いっぱいでした。

でもその選択肢があると知っていたのは大きかったです。本当はこんなことしたくなかったけれど、無理をしてでも行動したことが今の回復に繋がったと信じています。ボロボロになって貧しくもなったけれど、とても素晴らしい社労士さん、専門カウンセリング所にも自力で辿り着けました。

10月から新しい職場で働き始めました。

1年前の私に教えてあげたいです。今は安全だよって、今まだ勉強してきたり苦しんできたことはちゃんとあるよ、って。

そして私がお伝えしたいのは、ト田さんの活動のおかげでどんなに私が救われたか、とても感謝しています。

知っていることで楽になれたこともありました。私は悪くないって知れたのは大きかったです。脳も体も私を守ろうとしてくれていました。

公演もオンラインで拝見したことがあります。あなたの、あなたの知性と理性と勇気に心から感謝と敬意を。本当にありがとうございます。あなたが今無事で良かったです。でもどうか、無理し過ぎないでくださいね。

私も、私にできることを少しずつ続けていきます。



特殊なケースかと思いますが、私はセイ的マイノリティでアセクシャル・アロマンティックです。アセクシャルは性的指向の一つで「自分と他人（異性・同性問わず）との性的な接触到に興味がないor望まない」指向です。一方でアロマンティックとは「自分と他人（異性・同性問わず）との恋愛に興味がないor望まない」恋愛の指向です。

幼少期の性被害がきっかけでこうなったのかは、今となってはわかりません。ただしカウンセリングを受けても誰かと恋愛したいとか、性的なことをしたいと思うことはありませんでした。被害のことを思い出すのがありますが、もっと根底に「自分が他人とそういうことをするのは、自分が自分じゃないような気がする。そうしようとすると人生に違和感が生じる」感覚があります。

こういう指向でいると「他人と恋愛や性的なことをしたがるのは病気」だとか「恋愛や性的なことをしたがるのは心が冷たいし、人格的に問題があるからだ」と決めつけられることが多々あります。あるいは「生産性のない人間、生きている価値がない」とレッテルを貼られたりもします。

なので被害についてカウンセリングをするのはとても勇気がいりました。被害について話すと、被害のことを思い出すのもそうですが、ただでさえ無自覚に異性愛者として扱われるのは苦痛ですし、かと言って正直に性的指向のことを話せばまた上記のような色々な発言をされるのではないかと苦しくなりました。一番怖かったのは被害から回復さえすれば、私が無性愛者でなくなり「他人と恋愛や性行為ができるようになるはず、望むはず」で性的指向が無性愛者から異性愛者に「治るはず」ような扱いを受けるのではないかと考えたことです。実際両親からはそのような扱いを受けて、「被害から回復できても自分の性的指向を否定されたなら、結局自分は自分として生きられないのだから、支援を受けても無駄なんじゃないか」と投げやりになりかけました。それでも話を聞いてもらったカウンセラーの方は性的指向を否定されなかったのが今は何とかなっています。

なので支援の場にももしお願いできるなら、被害者がこういう指向の人もいるかもしれないという意識を持ってほしいなと思います。

不必要に踏み込まない支援、例えば付き添いや傾聴などの支援が広がることを願います。

なんとなく、このアンケート自体に「性被害に遭った女はメソメソくよくよしているはず」というバイアスを感じる。私はめっちゃめっちゃ怒っている（加害者にも、被害届を受理しようとしなかった警察官にも）し、加害者を直前ぶん殴ってやりたいと当時も今も思っている。「加害者を絶対に許せない」という強い怒りで連帯している女性も多いと感じるので、質問内容に違和感があった。

大丈夫です

9歳のとき、本屋で強制わいせつの被害に遭いました。直後に親に出来事を話したものの、「服の着方を親切に教えてもらっただけ」としか認識していませんでした。また、親は警察や店舗に通報しませんでした。

18歳頃からPTSDを発症しました。

23歳のとき、被害届は時効後でも提出できると知り、弁護士や警察に相談して被害届を作成しました。

警察署に訪問日時の約束を取り付けて刑事課の女性に対応していただいたところ、「時効を過ぎた被害届は、提出されてもすぐシュレッダーにかけるので意味がない」と返却されました。現在もPTSDを含むうつ病の治療のため、精神科に通院しています。

私は10代後半20代に母の彼氏と母から性的虐待を受けました。大きなトラウマになり、生活がめっちゃめっちゃになりました。

数年後、ただ話がしたくて、始めたチャットアプリで断れないというトラウマ反応が出て、人に会いホテルに連れて行かれました。自分が悪いと思っていたのと、家族には言えなくて、チ



ヤットの人に助けを求めるために会うことを繰り返して合計3人から被害を受けました。1人目は10回くらい、2人目は2回、3人目は1回、当時は分からなかった再演も起こっていたかと思います。連絡がしつこく、あとこわくて切れませんでした。

何度も騙されてしまいました。

私は自分ばかりをずっと責めていて未だになんで何度も会ったのかと未だに後悔します。でも同じような人がいるならば、自責を抜けて救われるような世の中であってほしいと強く思います。

すでに時効と思われるが、今からでも、訴訟できるのであればしたいです。

就職活動中、面接官に腕を掴まれ、股間を触らされそうになった。しかしペニスの手術後で、勃起できないと説明があり、実際手を振り払って触らなかったため、被害は回避できた。面接官がもし手術後でなければそのままレイプされていたのではないかと思っているが、実際そんな被害起きなかったのだから警察に届けず、忘れてしまった方が楽だと思ってしまった。

情報がなすすぎで疲れた

Cure timeを含め、ワンストップセンター等の性暴力の相談窓口での対応が酷いときがあるし、ガチャだと思う

刑事・民事訴訟において、PTSDを発症した時点では訴訟を起こす・行動する事は不可能に近い為、時効のさらなる延長を望みます

周りに友人やサポートしてくれる環境がある被害者の方々が苦痛であることも理解しております。同時に何度も繰り返し被害に遭い身内も友人も離れてしまった孤立している被害者、生活に困窮している被害者がいる事も時々発信していただけると助かります。もう私の声は届かないので、困難の中大切な発信をしてくださりありがとうございます。

どこにも相談せず一人で抱えた子どもにとっては（昔はとても多かったと思う）回答しづらいアンケートだと感じた。

性被害はとても広いです、軽視されない世の中になってほしいです。

ワンストップセンターを知っていたので、比較的早く支援を受けられました。ですが、紹介された医療機関（精神科）で医師に「もともと親とのトラウマがあるから症状の原因はそっちじゃないか？」と言われ、傷つきました。ワンストップセンターの紹介でも、必ずしも性被害を理解してくれるわけではないのだな、と思いました。（その後体調を崩した）

自分の場合性的マイノリティ（アセクシャル）が発覚し、そのせいとされたアンコンシャスバイアスやマイクロアグレッションも加わり、通常の人より更に複雑になった。

しかし実際は性的マイノリティ云々以前の問題。

- ・性的同意、性暴力という言葉する知らない。犯罪だと思ってない。
- ・アセクシャル自体を知らない、信じない、仮にあったとしても病気で治せると思っている。善良な人でも差別とすら気付いてない。

本質は同じで、包括的性教育がされていないこと、基本的人権の意識のなさだと思っている。



日本の司法の成り立っていない現状がが被害を生んでいる。被害者が口を塞がれ、悪いこととされないまま加害が続いていく。訴えるなら国。

自助会について詳しく知りたい。

アンケートに回答する過程で不愉快さが少し和らぎました。ありがとうございました。

カウンセリングが高いから行けない

1度警察に相談して被害届を出し捜査してもらったが、物証がなく、不起訴になってしまった。その後、私自身で検察審査会へ申し立てをして、再度警察での実況見分や再現見分などの捜査をしていただき、検察で調書を改めてとっていただいた。結果、加害者が起訴され、刑事裁判になった。私にとって刑事裁判は被害回復の場でもあるので、もっと早く検察審査会への申し立てをしていれば、もう少し早く被害回復できていたのではないかと思った。

被害にあってからカウンセリングを受けるまでには20年ほどの期間がありましたが、選択肢になかったので3年程度を選びました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

Does this form look suspicious? [レポート](#)

Google フォーム



